

悔いの無い舞台に

審査業務部長 上 村 岳 章

温習会や各大会に出吟の機会があつて、舞台に立つ時の私の心構えとして、「この舞台が最後の舞台」の気持ちで望むことになります。

この年と言うよりも人間明日は何が起こるか解からないことのほうが重きを成して来ているからかも知れません、いつでも全力を傾けて悔いの無い舞台に出来るように、練習や勉強をしておりますが、なかなか思うように出来ないのが現実です。

口悔いを残さない方法が一つだけあります。

それはその舞台に向つて自身の努力、練習が自身で納得出来るようになってきたかどうかです、その上で舞台に立ち、間違えたり、失敗したりしても、今出来る努力や練習をした結果であり、納得出来ます。

万が一に自身が大して努力もして無いで、結果間違えたり、失敗したりすると悔いが残

ります、舞台は常に自身との戦いの場と位置づけております。
納得出来る詩吟が吟じられた時の安堵感、さわやかさは何物にも替えがたい。
まさに「吟じ終りて清風起くる、一吟天地の心」の境地です。

風邪を引いて体調を崩したり咽を痛めたりそんな時でも決して言い訳はしないように心掛けています、それは体調が良くても悪くても、その日その時の自身の実力だからです。

言い訳をして舞台に上がると、出来が悪くても自分は体調が悪いから仕方がないと自身を慰め、うまく行くと体調が良ければもつといい吟が出来るぞと、誇示しているので、決して褒められることではないと私は感じます。これからも自身を追い詰め、「この舞台が最後の舞台」の気持ちを、これからも持ち続けたいと思っています。



題字は松井岳洋筆

No.385
平成19年10月

発行
(社)日本詩吟学院岳風会認可
硕心会
発行者 加藤岳洵
編集者 磯村岳朋

神奈川県葉山町堀内206
Tel/Fax.046-875-3723

行事予定

葉山町詩吟・詩舞文化祭

日 時・10月28日(日)
場 所・葉山町福祉文化会館

逗子市詩吟詩舞連盟文化祭

日 時・11月4日(日)
場 所・逗子市文化プラザなぎさホール

皆伝会

日 時・11月10日(土)
場 所・葉山町福祉文化会館

葉山地区温習会

日 時・12月9日(日)
場 所・葉山町福祉文化会館

平成20年 硕心会初吟会

日 時・1月20日
場 所・葉山町福祉文化会館

昇伝認許

(平成19年10月1日付)

(少年 3名)

(少年 3名

(初段 10名)	
313 今原幸子	312 梅田元子
310 保志正子	311 土屋俊雄
(二段 4名)	
308 山崎勝美	307 鈴木康央
305 雑賀照子	306 有島和子
(初伝 5名)	
303 一戸 静	302 植草 真
300 松村昌子	299 柳原翼雄
(三段 1名)	301 佐々木美絵子
288 高森瑛泉	
(四段 4名)	
286 岩川栄泉	285 歌代宗泉
280 飯渕武泉	281 梅澤彰泉
(中伝 3名)	
259 渡辺恵山	258 乗松力山
(五段 3名)	
250 大塚洋山	246 今井重山
(六段 6名)	
237 高橋陽山	234 佐藤夫山
231 野口一山	230 行谷喜山
(奥伝 3名)	
213 山口重風	232 野口聖山
(七段 1名)	229 後藤伸山
201 大野祥風	
(八段 2名)	
189 有友嘉風	211 島 光風
188 有馬昌風	210 由谷悦風

審査会雑感

渚 土屋俊雄

詩吟を学んで見たいと思う事はあっても、

実際にそれが叶ったのは80才を目前にした昨年の暮。諸教場を見学に伺い、練習が夜であり張りが利いて好もなく、その僕入会させて頂いた。碩心会の70周年行事も終り、漸く始

めて審査課題に取

り組んだ。夏休み直前に「九月十日」

に決め、諸先輩の指導よろしく、毎

朝吟ずる様心掛けた。それでも加齢の為か覚えた筈の七言絶句が、皆の

前では行き詰る始末。その間気持ちを落付かせる呼吸方法などを実行し

て確かめ、少しは自信を取り戻した。



審査当日は、之等の集積により、漸く吟じられたとの思ひ。ホッとしてゐる。

講評時に漢詞のこと。一句三息の基本など私にとつては貴重な勉強となつた。今後詩吟を生甲斐の一つとして精進したい。

相州岳風連合吟道大会に参加して

あづま 一之瀬 岳保



千葉先生の万歳三唱で終りました

第1回相州岳風連合吟道大会に、大勢の会員の皆さんと一緒に集り、吟、詩舞と、すばらしく心にしみる思いをさせてもらいました。年齢別吟詠で、表彰された方達の吟はやはりすばらしく力強く優れた吟を聴いて得られる感動、詩文や作者について深く知る喜び、苦労した吟が身についた時の達成感、この様な気持になれた事の喜びの一日でした。

会場では、席を立つ人もなく、最後まで一杯でした。

杯でした。

渚 鈴木 岳 倖

この度、会長をはじめ常任理事、顧問、相談役の諸先生のご出席を賜り立派な新総祝会を開催して戴き感慨無量でございます。

碩心会70周年大会の年に総伝を戴き忘れられぬ良き思い出になります。

これからは総伝に恥ない様吟道を研鑽し碩心会の為に少しでも尽力出来る様頑張る所存です。宜しくお願ひ致します。

あづま 荒木 岳佳

この度総伝を頂きありがとうございます。まだ吟力不足の私が、思いもかけず、総伝を頂き言葉もございません。月日の経つのは早いもので、詩吟を始めてから、いつの間にか二十五年過ぎました。私の今迄の人生は詩吟なしでは、考えられません。まだ未熟の私ですが、改めてスター・トライインに立つたつもりで、精進したいと 思います。

真澄 佐藤 岳由

此の度総伝位を頂き、身に余る光榮と感激いたして居ります。唐木山支部発足と同時に入会、あつと云う間に20数年の月日が経ちましたが此れを機に更に吟道の研鑽に努めて参り度いと思って居ります。どうかよろしくお願ひいたします。

真名瀬 大坪 岳久

総伝になつた連絡を頂き、私のような若輩者が戴いてよいのかと思いながら総伝会に出席致しました。諸先生方の祝いのお言葉を大切に、今迄のことを踏台にして初心にかえり頑張るつもりです。これからもうろしくご指導下さるようお願い致します。

総伝をいただけたのは、家族・教室の仲間・先輩・諸先生のおかげと深く感謝申上げます。継続は力なり。初心を忘れず頑張ります。今後ともよろしくお願ひ致します。

一色 小菅 岳 倖

この度、総伝を頂き村田先生はじめ諸先輩、家族のお陰と感謝致しております。詩吟を始めたきっかけは主人と同じ趣味を持つことでした。今後総伝に恥じないよう精進に努めて参りたいと思います。



平成19年 新総伝祝賀会 (H19.9.2 恩波亭 葉山マリーナ内)

平成19年度夏季吟道講座に参加して

東伏見支部 有友嘉風

梅雨明け後の8月5日、碩心会第10回吟道講座が葉山町文化福祉会館に於いて90名を越す参加者のもと開催されました。本年は漢詩3講座及び和歌の4講座が設けられ、講師は行谷隆風普及部長、上村岳草番查業務部長、内山岳青副会長及び加藤岳洵会長の順に担当



暮らしの雑学

詩吟と饑原

介護予防、生活習慣病予防、認知症予防等「予防」の文字を多く見聞きする昨今、詩吟と結びつけて考えることが多くなりました。腹式呼吸による発声、口の動きに合わせた

ばかりです。健康を害して、満足な吟が出来ないことが過去に何回かありました。その度に、詩吟が健康のバロメーターになつてゐることを感じることがありました。また、生活歴がそれぞれ異なる人との出会いやコミュニケーションは、人生を豊かにしてくれます。大きな声で吟じ、笑いながら語らい、次の教室を楽しみに散会。介護保険や医療保険の経済的基盤を支えていること「お世話になつていらない」を自負して、健康維持のために詩吟を一日でも長く続けたいと思つています。なんと言つても、健康は財産ですから。



会員のうごき

入会

フジムラ ヒロシ
324 藤村 宏(真澄) 逗子市桜山6-19-13
☎046-872-0673 紹介者 菊池岳悠

325 小暮洋子（真澄） 逗子市沼間2-10-23
☎046-873-3415

退会

22	木村岳茅	(松和)	57	矢嶋晃岳	(紫陽花)
89	乙津岳岳	(滝の坂)		死亡	
97	小野裕岳	(悠吟)	162	蒲 庭風	
205	宗 環風		214	佐藤智山	(滝の坂)
215	藤井醉山	(松和)	235	山口莉山	
269	大塚陽久	(悠吟)	289	横井昌泉	(幸和)

支部麥更

21 白井岳麗 滝の坂 ⇄ 諏訪
315 渡辺義昭 滝の坂 ⇄ 諏訪
316 市川太二 滝の坂 ⇄ 諏訪

十分取るのも風邪を防ぐ方法です。

19年 10月現在	会員数
葉山地区	124名
逗子・大船地区	99名
合 計	223名

編集後記		漸く暑さも過ぎてカレンダ ーを見ると早10月も半ばであ る。毎年ながら大会が次々と 迫てくる。この時期は、朝 昼夜の温度が大きく変化す る、油断すると風邪をひくの で家に帰つたらうがいをする のが良い、お茶や紅茶の出が らしでいいらしい、寝る時は 首にタオルか手ぬぐいを巻く と、これが喉を守つてくれる。 一度お試しください。睡眠を 十分取るのも風邪を防ぐ方法 です。			
会員数	名前	1	2	9	3
地区	地区	1	2	9	2
地区	地区	1	2	9	2
葉山	大船地区	1	2	9	2
逗子	計	1	2	9	2
合		1	2	9	2